

2009年11月

「取引ネットワークに関するアンケート調査」へのご協力のお願い

拝啓 貴社におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度は、一橋大学 産業・金融ネットワーク研究センターのアンケート調査にご協力いただき誠にありがとうございます。アンケート調査の趣旨をご理解いただきたく、私どもの研究活動について一言説明させていただきます。

一橋大学 産業・金融ネットワーク研究センターは、一橋大学を中心とする研究者15名で昨年10月に発足した新しい組織です。数年前の新潟の大地震では部品メーカー1社が操業を停止しただけで大手自動車メーカーの操業が軒並みストップするということがありました。これに象徴されるように、企業間のつながりやネットワークは非常に重要です。しかし残念ながら、そうした企業の実態は、研究者にも、また政府関係者にも、はっきりとは把握されていませんでした。当研究センターは、各企業の仕入先、販売先に関する大規模なデータベースを構築し、企業間のつながりの現状やその推移を把握することを目的として創設されました。また、企業間のつながりをさらに強め、日本企業の競争力を高める方策を探り、広く提言していくことを計画しております。

そうした研究活動の一環として、このたび、「取引ネットワークに関するアンケート調査」を行うことと致しました。金融危機後の厳しい経済情勢が続く中で、データだけでは把握できない産業集積地での企業間取引ネットワークの実情や直面する課題を整理することを主な狙いとしております。

また、今回のアンケート調査は、我々研究者の関心事項だけでなく、経済産業省中小企業庁や大田区産業経済部との協力により行政側の関心も反映させた設計としております。中小企業庁が作成した年末対策についてのパンフレットを同封いたしました。今回のアンケート結果は、適切な集計を施した後、ご希望に応じて個別にお送りし、当センターのホームページで公開させていただきだけでなく、2010年版中小企業白書の作成や、経済産業省や大田区産業経済部における施策立案のための基礎資料としても活用してまいります。

年末が近づき何かとあわただしいこの時期に、アンケート調査に時間を割いていただくのは大変心苦しく思っております。しかし、どうか私どもの研究活動の趣旨をご理解いただき、ご支援をたまわりたく、お願い申し上げます。

末筆ながら、貴社のますますのご発展を祈念申し上げます。

敬具

一橋大学産業・金融ネットワーク研究センター代表者
一橋大学経済研究所教授
渡辺 努